

流山市 議員研修会

地域を元気にする 子どもの貧困対策について

2025年1月31日

認定NPO法人キッズドア
理事長 渡辺由美子

わたしたちキッズドアは、貧困に苦しむ日本の子どもたちの社会へのドアを開けるべく、多くの大学生・社会人ボランティアと共に、子どもの教育支援に特化した活動を展開しています。

団体概要

認定NPO法人キッズドア
<http://www.kidsdoor.net>



理事長 渡辺由美子 プロフィール

2007年任意団体キッズドアを立ち上げる。

2009年特定非営利活動法人キッズドアを設立。

内閣府こども家庭庁こども家庭審議会こどもの貧困対策・ひとり家庭支援部会臨時委員

内閣府子どもの未来応援国民運動発起人

厚生労働省生活困窮者自立支援及び生活保護部会委員

全国子どもの貧困・教育支援団体協議会副幹事

著書：子どもの貧困 未来へつなぐためにできること
(水曜社/2018年5月)



KIDSDOOR TOPICS

キッズドア15年の歩み

FEATURE
001

KIDSDOOR
15 Years



2010

中学生への学習支援を開始



2016

英語に特化した無料学習支援「English Drive」を開始



2020

コロナ禍における全国の困窮子育て家庭支援「ファミリーサポート」を開始

理事長渡辺が天皇后陛下に拝謁の機会をいただく



2023

全国の高校生への学習支援「キッズドア学園オンライン」開始

2009

NPO 法人取得



2011

高校中退防止・大学受験のための学習支援を開始

東北事務所設立 & 東日本大震災支援活動を開始



2015

キッズドア・ラーニングラボ TOKYO(八丁堀 オフィス) 開設



2018

理事長 渡辺が著書「子どもの貧困 未来へつなぐためにできること」(水曜社)を上梓

2021

東京都より「認定特定非営利活動法人」(認定NPO 法人) 取得

医療系の進学に特化した「SBCメディカルコース」開始



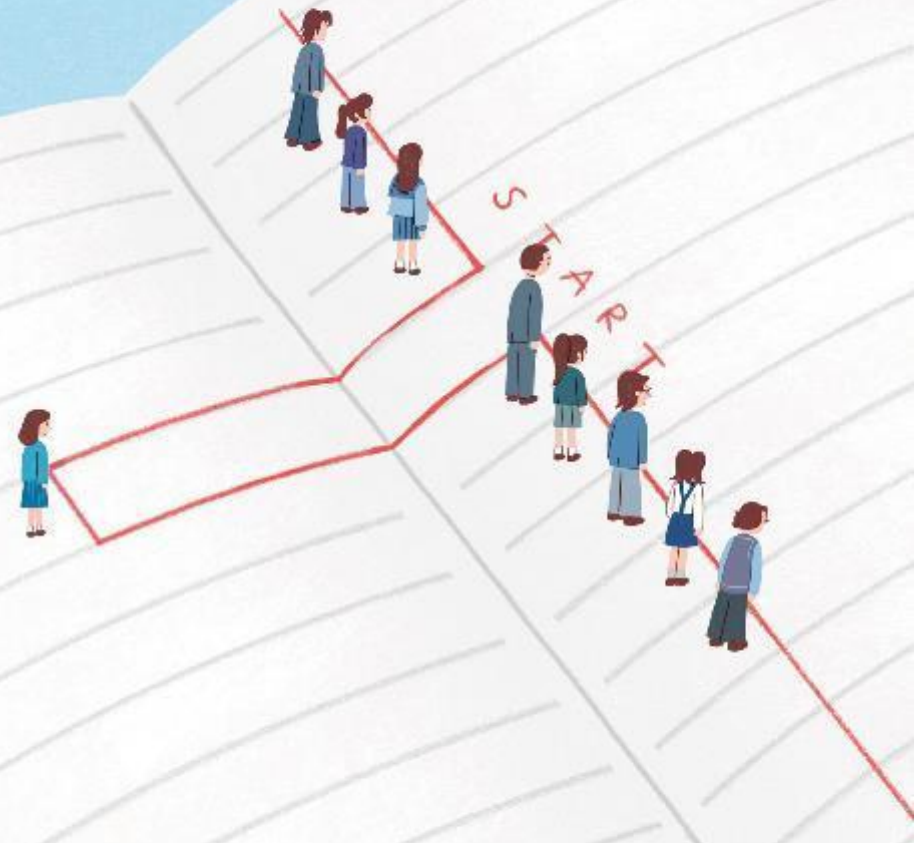
スタートラインは、 みんな同じだと 思ってた。

家庭の経済格差が生み出す、子どもの教育格差。
そのせいで、未来を諦めるしかない子どもがいます。

周囲の子には当たり前である壁に、通うことができない。
親の代わりに家事やきょうだいの世話をしなければならず、
自分の学習時間がつかれない。

頑張ってるのに、周囲の子たちに追いつけない。

本人の努力に関係なく、家庭の収入格差が
そのまま子どもの教育格差に繋がっています。



すべての子どもが夢や希望を持てる社会へ #キッズドア

「第62回JAA広告賞 消費者が選んだ広告コンクール」で入賞

https://www.ad-c.or.jp/campaign/support/support_08.html

1. **日本の子どもの貧困について**
2. **キッズドアの活動について**
3. **長引くコロナ禍の影響と物価高騰**
4. **食事や夏休みの課題**
5. **高校生世代支援の重要性**
6. **困窮家庭の不登校の課題**
7. **コロナ禍の緊急小口貸付と住民税非課税の壁**
8. **まとめ**

日本の子どもの貧困について

2009年に初めて貧困率を公表 → 新しい社会課題

日本の子どもの**相対的貧困率**は、先進国の中で上位
日本にも満足にご飯が食べられない子どもがいます。

(2023年最新発表 国民生活基礎調査)



11.5%

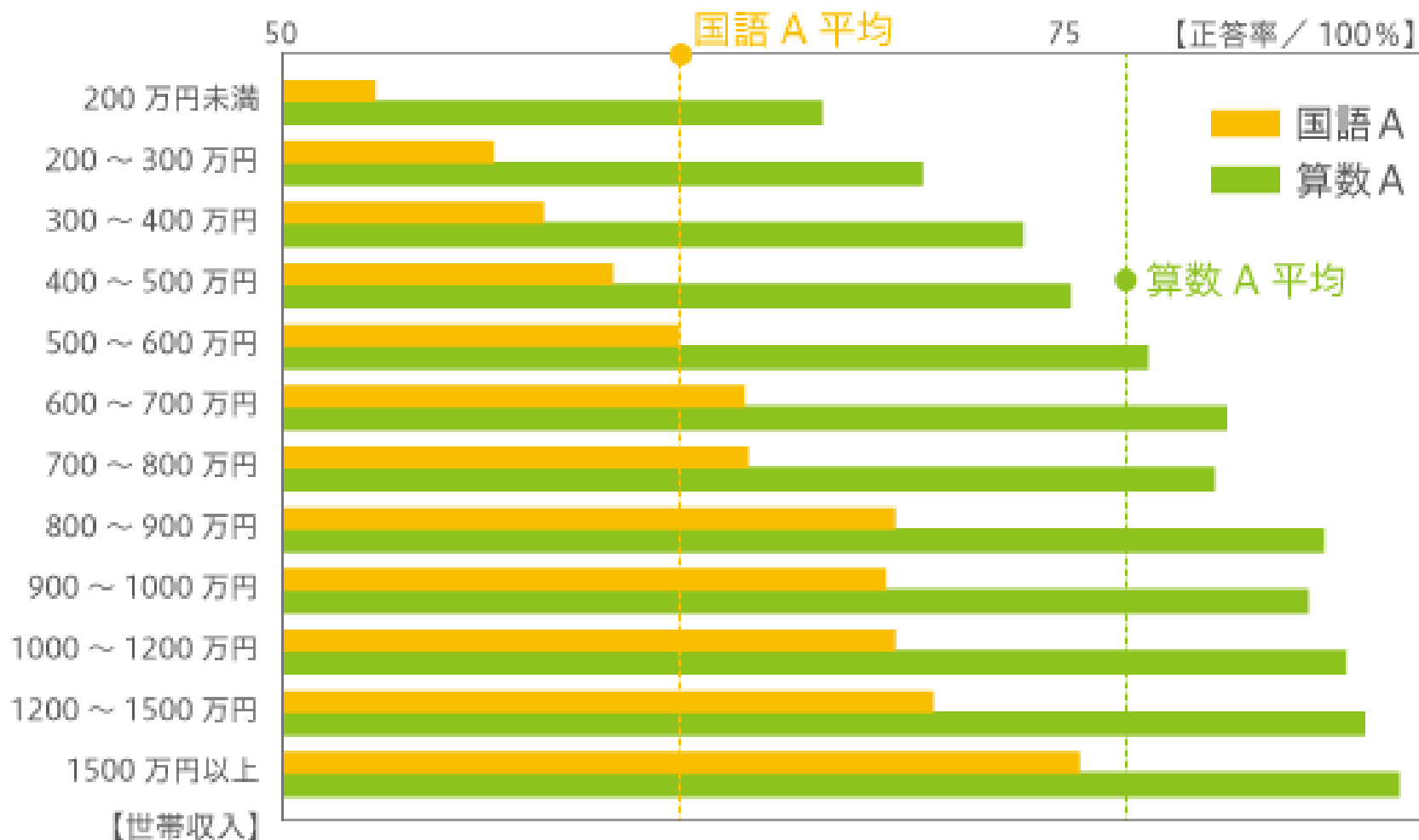
2018年調査より若干改
善
するも実態は厳しい状況



44.5%

ひとり親家庭の貧困率は、
OECD加盟34カ国中1番
(2018年時点データ)

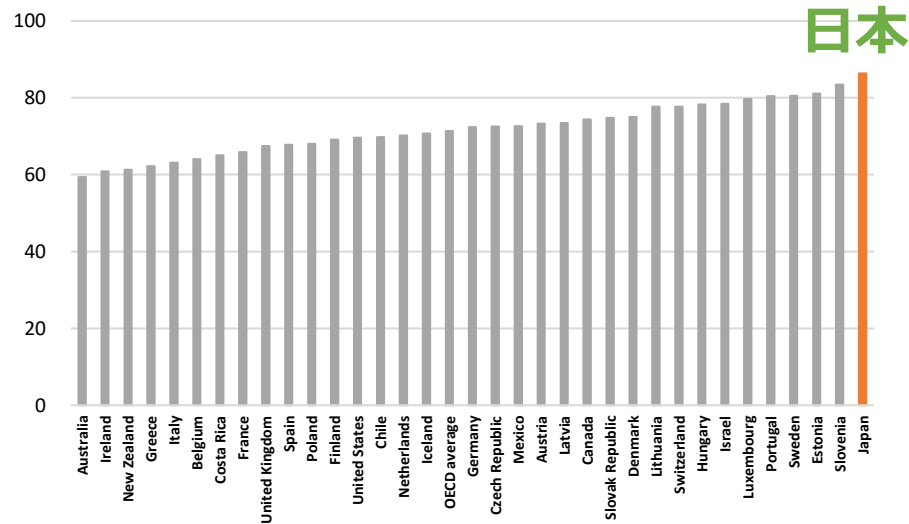
教育格差—親の収入で子どもの学力が決まる



(出典) 文部科学省委託研究「平成25年度全国学力・学習状況調査(きめ細かい調査)の結果を活用した学力に影響を与える要因分析に関する調査研究」(国立大学法人お茶の水女子大学)

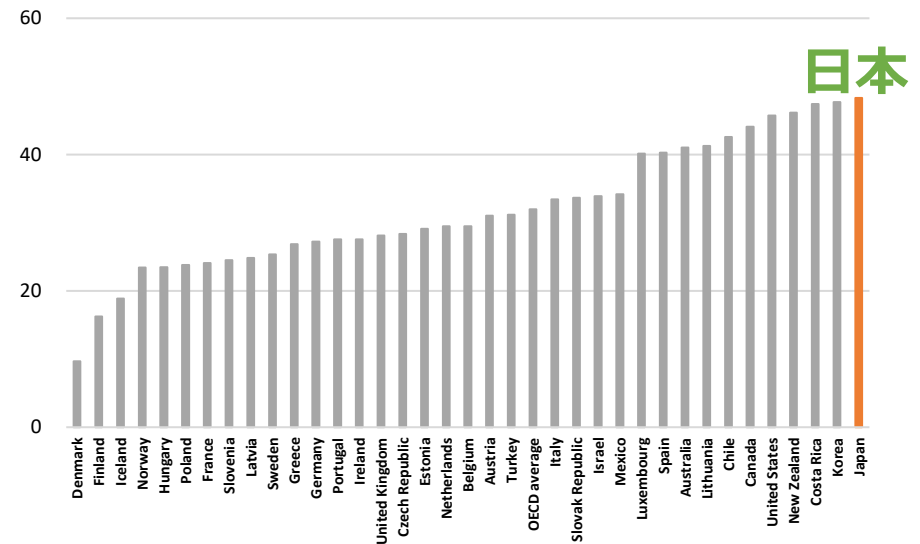
働いても貧困に陥るひとり親

ひとり親（母子）世帯の就業率
先進国 1 位



(出典) 日本：厚生労働省「令和3年度全国ひとり親世帯等調査結果」、その他の国：OECD Family Database (2021年データ、<https://www.oecd.org/els/family/database.htm>) をもとに作成。

ひとり親世帯の相対的貧困率
先進国 1 位



(出典) OECD Family Database (2018年データ、<https://www.oecd.org/els/family/database.htm>) をもとに作成。

貧困 ≠ 怠け者

- ・日本のひとり親世帯の**就労率は先進国 1 位**
母子家庭の就労率 80.6% は働いている
- ・日本のひとり親世帯の**相対的貧困率も先進国 1 位**

世界一働いているのに、世界一貧困なのが日本のひとり親

世界一のワーキングプア

男女の賃金格差・養育費の払ってもらえない・正規雇用になれないetc

子どもの貧困は自己責任ではなく社会構造の欠陥

困窮家庭の子どもの学習環境

- 塾に行かせられない、家庭教師をつけられないという以前に、家庭において最低限の学習環境が整っていない。

住環境

家が狭く、勉強部屋がありません。

宿題をやろうとすると、保育園の妹が邪魔をして、ドリルやノートをぐちゃぐちゃにしています。

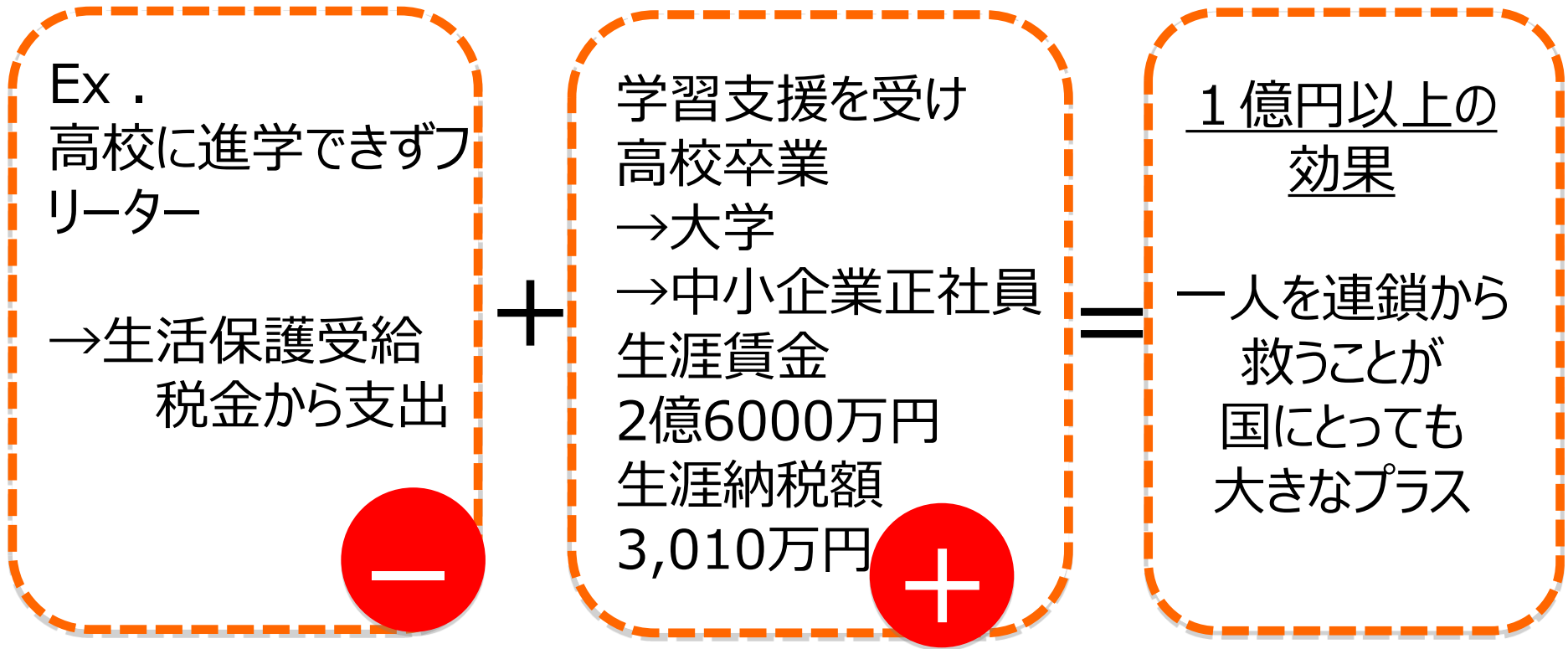
時間の貧困

母子家庭で、正社員になれないため、低賃金のパートをWワーク、トリプルワーク。子どもは家で勉強をみてもらうことができない。

教育へのわずかな投資ができない

家にはパソコンがない。参考書や問題集を買うのも大変。模試が受けられない。

子どもの貧困は福祉ではなく投資



日本財団の試算

現在15歳の1学年だけでも経済的損失は**2.9兆円**、
社会福祉費の増加が**1.1兆円**

キッズドアの活動について

数字でわかる 2023キッズドア

 FEATURE
003

2023年度も多くの方に支えられ、キッズドアは活動を行うことができました。
そんな2023年度のキッズドアの活動・成果の中でも特に印象的なものを数値化して表しています。

大学・短大、専門学校
合格者数（延べ）

190人 

北海道大学、東北大学、大阪大学、
慶応大学、早稲田大学など

今年から全国の高校生を対象にオンラインでの受験支援をスタートさせるなど、様々な生徒のニーズに合わせた学習支援をキッズドアは行っています。今後も難関大学に限らず、生徒の志望校に合わせたきめ細かいサポートを全国の高校生に行っていきます。



ファミリーサポート物資&
情報&体験&就労支援対象者数（延べ）

603,860人

「ファミリーサポート」では全国のご家庭を対象に食料や進学情報の提供に加えて、就労支援や体験活動の支援を行いました。

高校進学者数

238人 

今年も初めての受験を迎える中学3年生を、ボランティア講師を中心にサポートし続けました。生徒一人ひとりに寄り添った支援により238名の中学3年生が高校へと進学しました。



私立高校進学者

87人

公立高校進学者

151人

- ・情報支援 **571,496名** (184回)
- ・食料支援を含む物資支援 **27,472名** (8,585世帯)
- ・体験活動 **1,489名** (30回)
- ・就労支援 **103名**

生徒数合計

2,078人 

今年も小学生から高校生世代まで多くの生徒がキッズドアの学習会に参加しました。昨年に引き続き、高校生世代の人数が増えています。勉強だけではなくキャリアイベントに参加する生徒も多く見られました。オンラインでの学習支援も引き続き行い、場所の制限なく全国各地から生徒がキッズドアの支援を受けています。

ボランティア人数

1,080人 

大学生から社会人、年配の方まで今年も1,000名を超えるボランティアが生徒のロールモデルとして活躍しました。オンラインでの支援も定着し、全国からはもちろん、海外からオンラインで参加されるボランティアも増えています。

年間学習会
開催回数

5,949回 

少しでも多くの生徒に参加してほしい。そんな思いでキッズドアの学習会は年間約6,000回も開催されています。今年もオンラインも含め日本全国から多くの生徒が学習会に参加し、成長をしています。

ご協力いただいた企業や団体

260社・団体 

高校生世代
1,009人

小学生
232人

中学生
837人



教室数
77か所



東京だけではなく、千葉や埼玉、東北でキッズドアの学習会が開催されました。勉強を学ぶだけではなく、生徒の居場所やキャリアイベントの開催など、それぞれの拠点において特色のある学習会が開かれています。

メディア掲載数

181回 

今年も新聞、ラジオ、雑誌、テレビなど多くのメディアにキッズドアの活動を掲載していただきました。

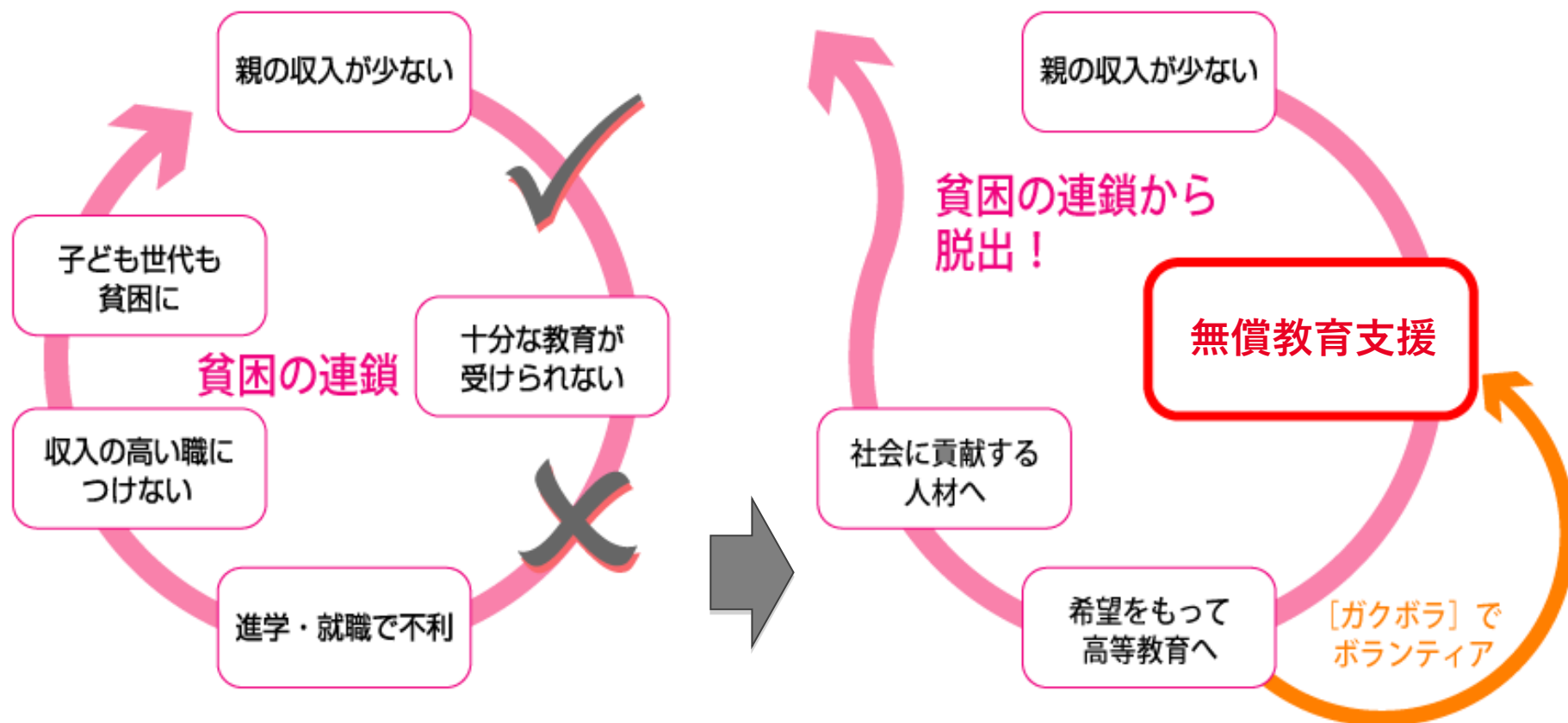
今年も多くの皆様のご協力により、キッズドアは子どもへの支援を行うことができました。寄付だけではなく、プロボノや物資提供などのご支援が生徒の笑顔を支えています。



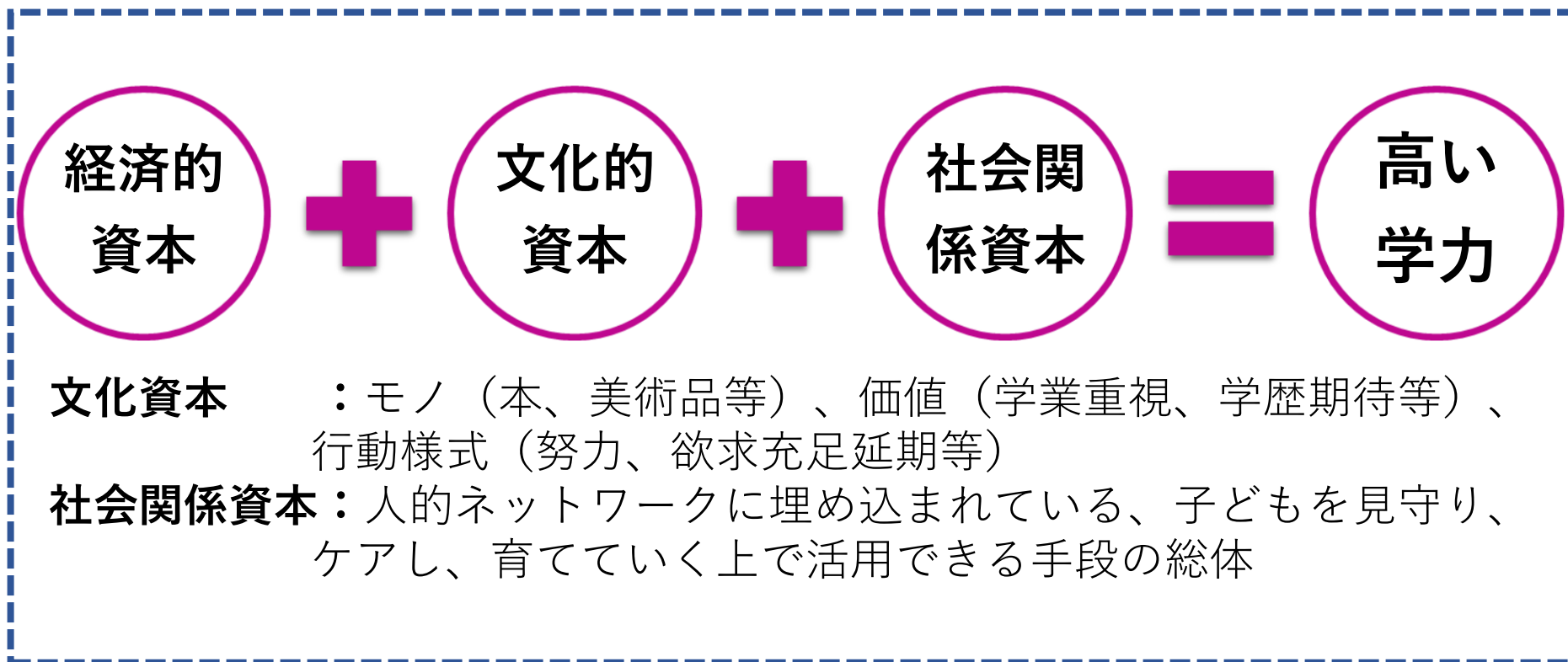
様々な体験活動を居場所内・外で実施することで、不足している文化的資本や社会関係資本を蓄積することを重視



学習支援 = 自立する力をつけることで貧困の連鎖を切る



経済的資本（学習支援や生活支援）に加えて、**文化的資本**、**社会的資本**を居場所で**充足**することで子どもの健全な成長・学力向上につながる



お茶の水女子大学・耳塚寛明教授（当時）調査資料より

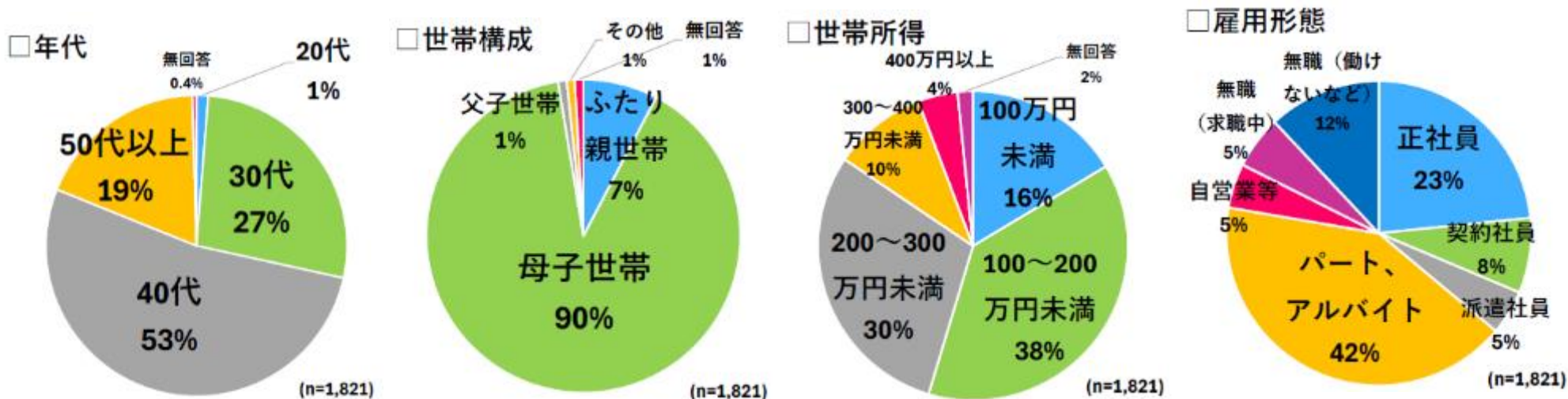
長引くコロナ禍の影響と物価高騰 食事や夏休みの課題

2024 夏 子育て家庭アンケート

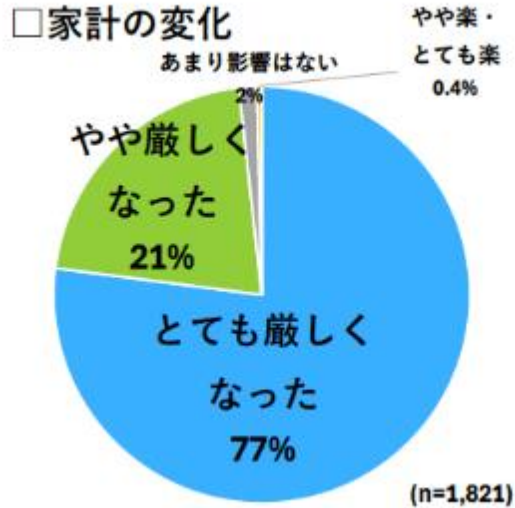
調査概要

- 目的：物価高騰が続く中、困窮子育て家庭の生活実態と支援ニーズを把握し、当団体の支援活動充実、必要な支援の実現に向けた社会への提言を行うこと。
- 対象：キッズドア・ファミリーサポート登録世帯
- 調査期間：2024年5月27日～2024年6月3日
- 回答数：1,821 件

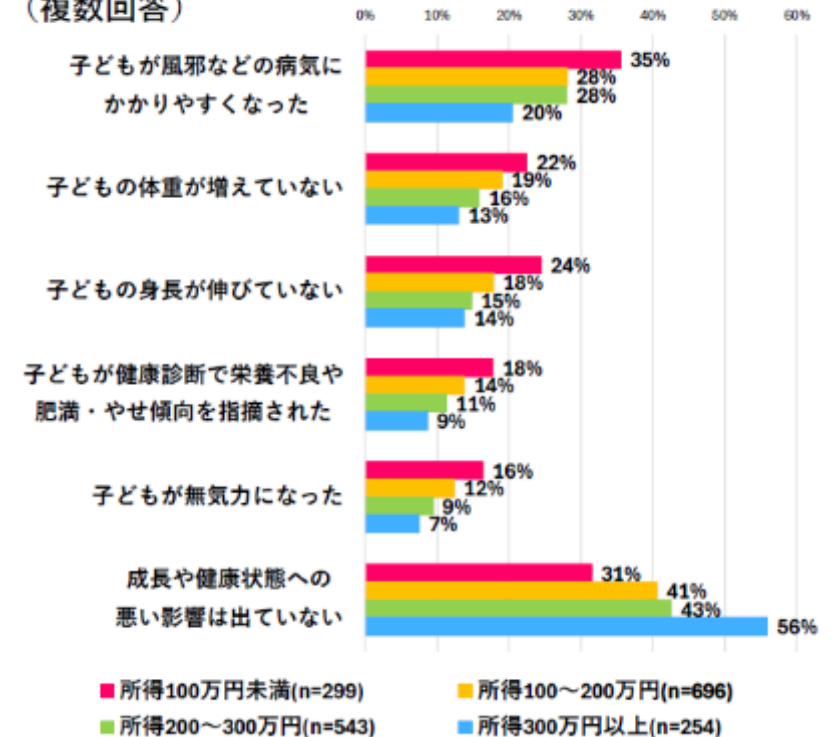
回答者のプロフィール



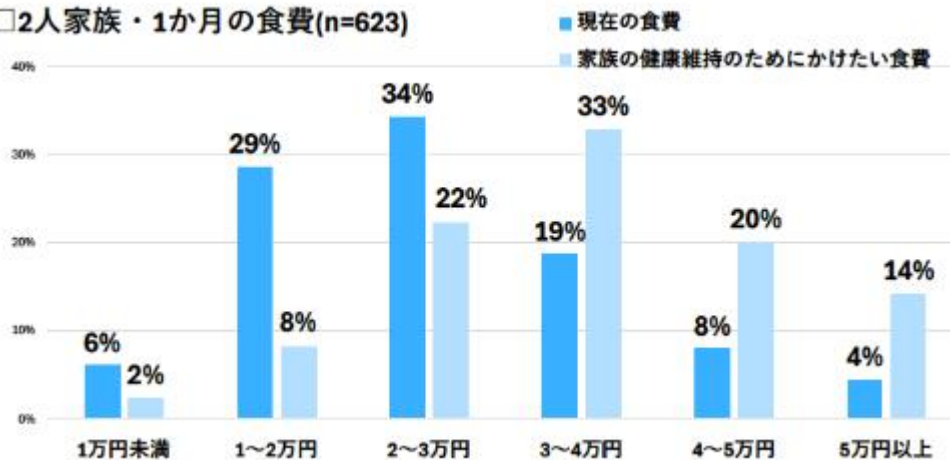
アンケート結果 家計や食事、子どもの成長への影響



□世帯所得別・子どもの成長や健康状態への悪影響
(複数回答)



□2人家族・1か月の食費(n=623)

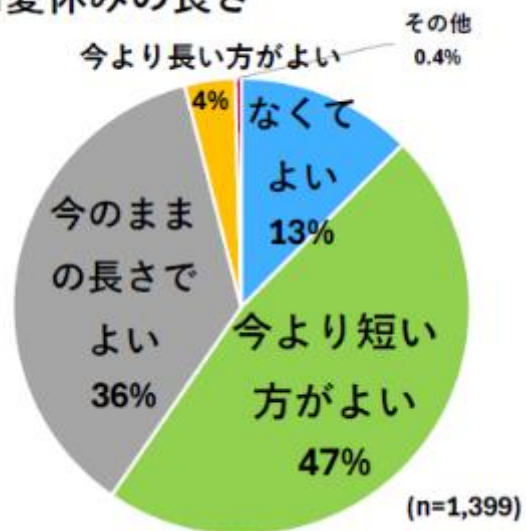


食べ盛りの子供3人いますが、一番下の小学生は学校内の内科検診で、体重の減少でひかかりました。満足な量を食べさせてあげられていないので申し訳ないと思っています。

アンケート結果 小中学生の夏休みの実態

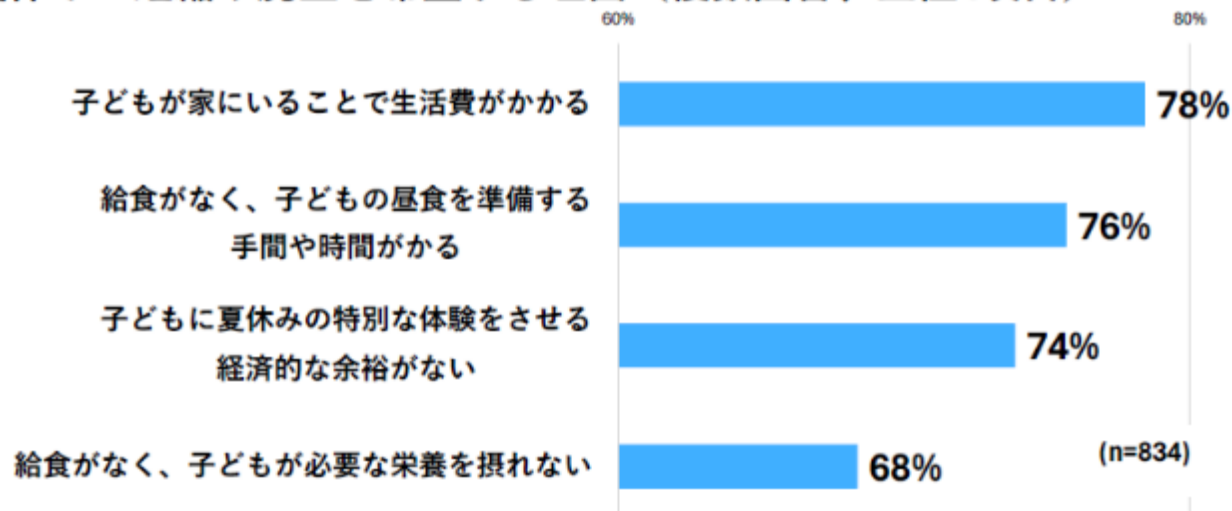
- 6割の保護者が、夏休みについて「今より短い方がよい」または「なくてよい」と考えている。
- 夏休みの短縮や廃止を希望する理由の上位は、生活費の増加、昼食準備の手間や時間、経済的理由による夏休みの体験活動の不足、給食がないことでの子どもの栄養状態。

□夏休みの長さ



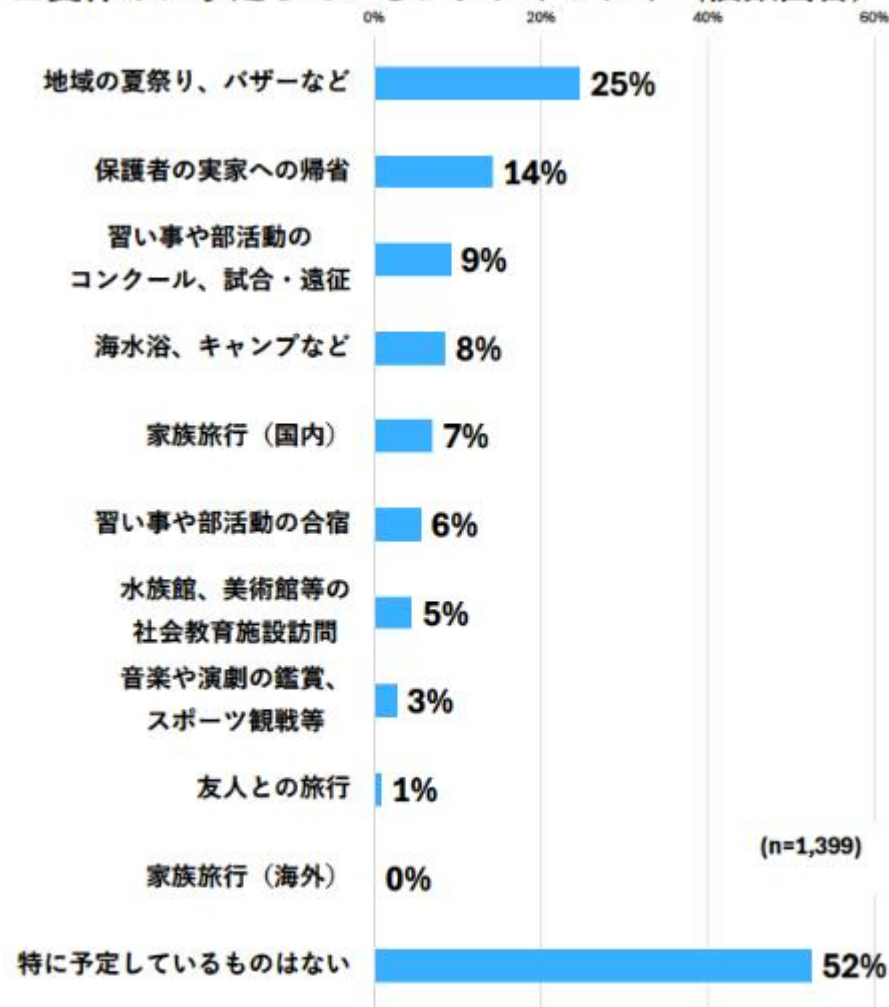
*「小学生」または「中学生」の子どもがいる回答者が対象。

□夏休みの短縮や廃止を希望する理由（複数回答、上位4項目）



*夏休みの長さについて「なくてよい」または「今より短い方がよい」とした回答者が対象。

□夏休みに予定しているアクティビティ（複数回答）



* 「小学生」または「中学生」の子どもがいる回答者が対象。

- 学校の長期休みは給食がないので、毎年恐怖です。ここ数年、ものすごく暑くなるべくエアコンかけたくないのですが、仕方なくつけてます。身体が一番大事なので。電気代も高いし、食費もかかるし夏休みは辛いです。
- 夏休み、仕事があるので、学童に行かせないといけないですが、夏休みの弁当を作るのも不安です。子どもから足りないと言われる事もあります。満足する弁当を作ってあげたいです。
- 長期休みが明けると、家族で旅行に行った友達とかの話を聞いてきて羨ましそうにしているので格差を感じる。

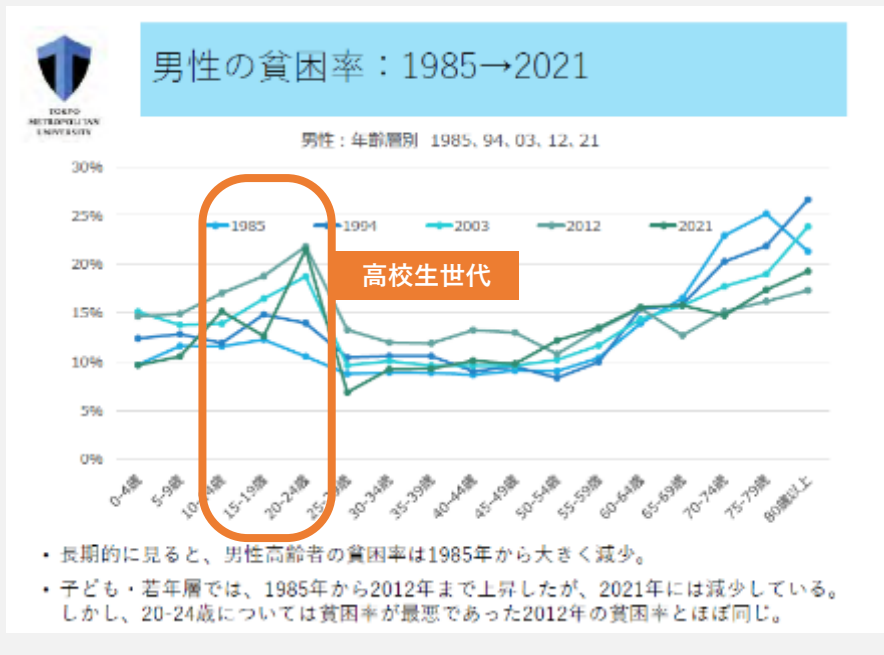
高校生世代支援の重要性

困窮×不登校×通信制高校

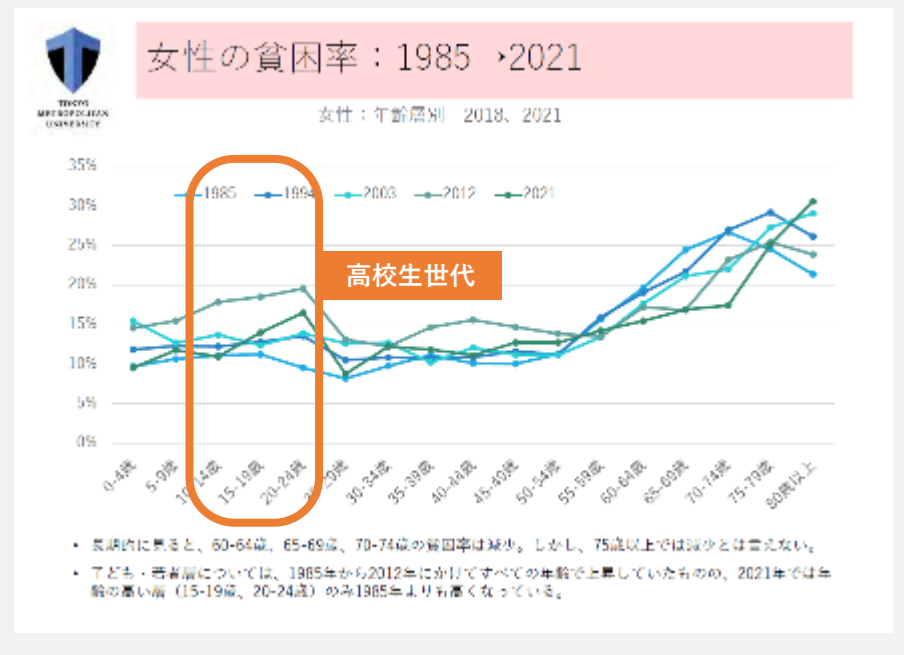
基礎自治体の支援対象から見過ごされがちな 高校生・若者への支援が重要

高校生世代 (15歳～20歳頃) の貧困率は高水準

男性の貧困率の推移 (1985年から2021年)



女性の貧困率の推移 (1985年から2021年)



出典：阿部彩 (2024) 「相対的貧困率の動向:2022年調査Update」 JSPS22H05098, <https://www.hinkonstat.net/> より抜粋

高等学校の不登校や中途退学は増加傾向

高等学校における不登校の状況

● 高等学校における不登校生徒数は60,575人(前年度50,985人)であり、1,000人当たりの不登校生徒数は、20.4人(前年度16.9人)である。

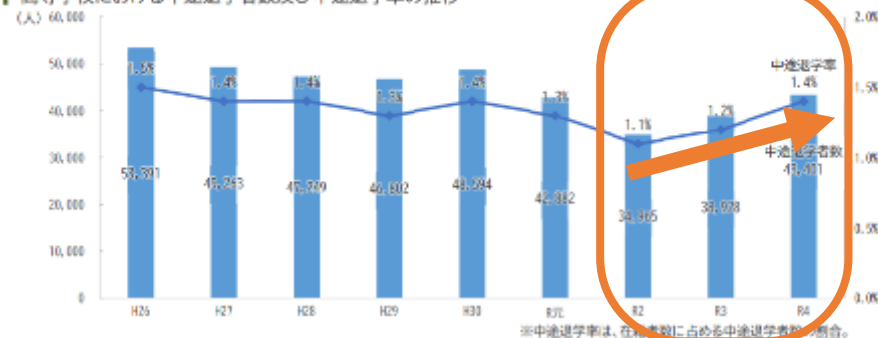
不登校生徒数の推移



高等学校における中途退学の状況

● 高等学校における中途退学者数は43,401人(前年度38,928人)であり、中途退学者の割合は1.4%(前年度1.2%)である。

高等学校における中途退学者数及び中途退学率の推移



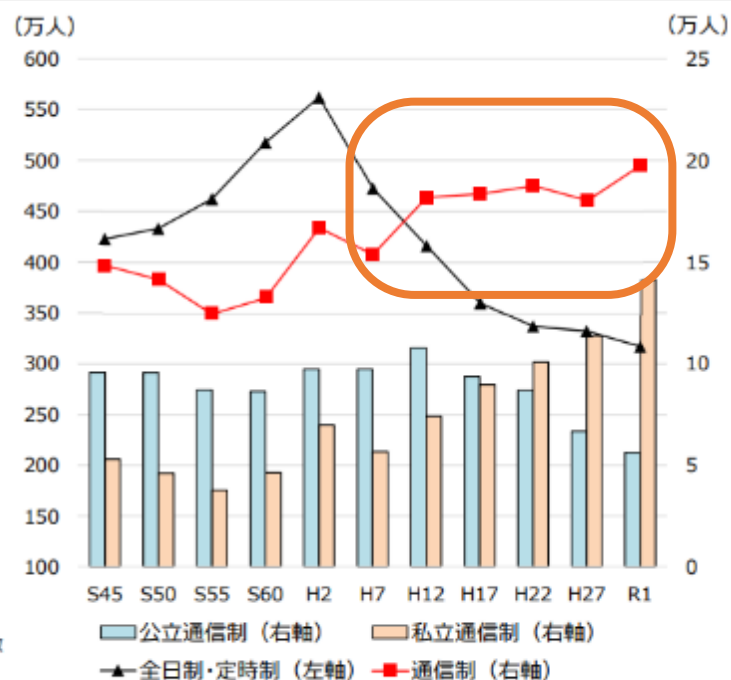
通信制高校の生徒数は増加傾向

高等学校の生徒数 (公私別推移)

	全日 定時	通信		計
		公立	私立	
S45	4,231,542	95,848	52,900	148,748
S50	4,333,079	95,674	46,125	141,799
S55	4,621,930	87,104	37,766	124,870
S60	5,177,681	86,282	46,362	132,644
H2	5,623,336	97,271	69,715	166,986
H7	4,724,945	97,330	56,657	153,983
H12	4,165,434	107,854	74,021	181,877
H17	3,605,242	93,770	89,744	183,518
H22	3,368,693	86,843	100,699	187,538
H27	3,319,114	66,702	113,691	180,393
R2	3,092,064	55,427	151,521	206,948

(※1) 全日制・定時制課程の生徒数には、専攻科・別科に属する生徒数を含む。

(※2) 通信制課程の生徒数には、他からの併修者の数は含まれていない。



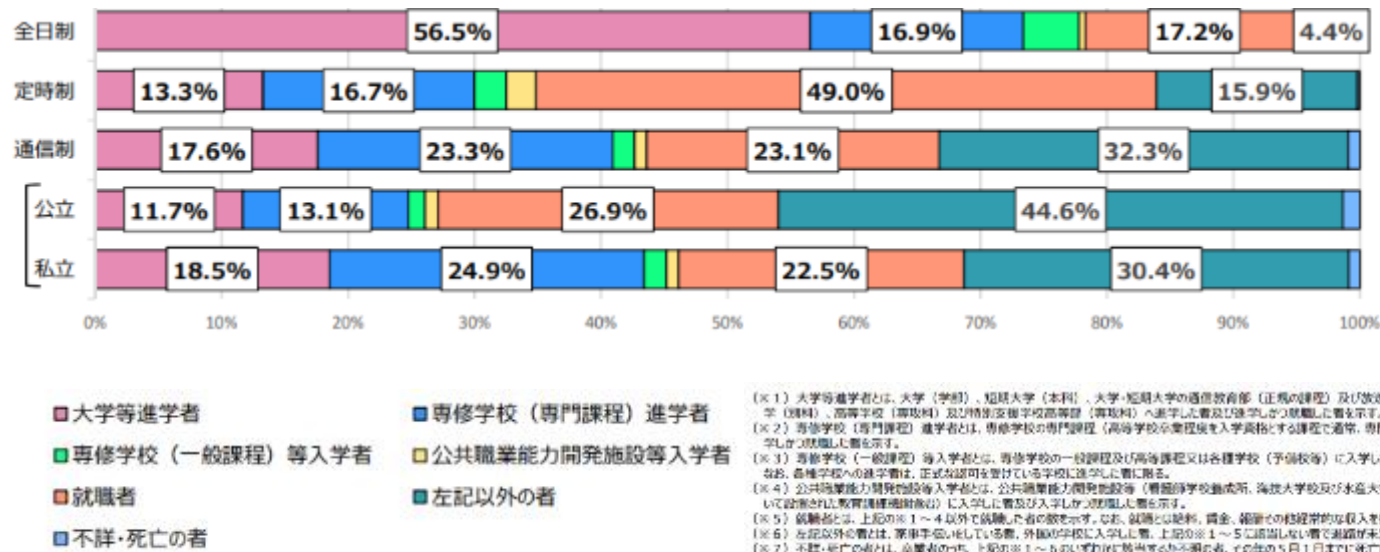
(出典) 文部科学省「学校基本調査」 5

出典：通信制高等学校の質の確保・向上に関する調査研究協力者会議（第7回）配付資料「参考資料2：高等学校通信教育の現状について」より抜粋
https://www.mext.go.jp/content/20210226_mxt_koukou01-000013082_04.pdf

通信制高校の卒業後進路は約3割が未就職・未進学

※海外の学校に進学した者は除く

通信制課程の卒業後の状況（令和元年度）



【※1】大学等進学者とは、大学（学部）、短理大学（本科）、大学・短理大学の通信教育部（正規の課程）及び放送大学（全科目修生）、大学・短理大学（別科）、高等学校（専攻科）及び特別支援学校高等部（専攻科）へ進学した者及び進学しかつ就職した者を示す。
 【※2】専修学校（専門課程）進学者とは、専修学校の専門課程（高等学校卒業程度を入学資格とする課程で通常、専門学校と称する。）へ進学した者及び進学しかつ就職した者を示す。
 【※3】専修学校（一般課程）等入学者とは、専修学校の一般課程及び高等課程又は各種学校（予備校等）に入学者及び入学しかつ就職した者を示す。なお、各種学校への進学者は、正式な認可を受けている学校に進学した者に限る。
 【※4】公共職業能力開発施設等入学者とは、公共職業能力開発施設等（職業訓練学校施設等、海技大学校及び水産大学校など学校教育法以外の法令に基づいて設置された教育訓練施設等）に入学者及び入学しかつ就職した者を示す。
 【※5】就職者とは、上記の※1～4以外で就職した者の数を示す。なお、就職とは給料、賃金、報酬その他の経済的な収入を得る仕事に就くことという。
 【※6】左記以外の者とは、家来手帳にない者、外国の学校に入学した者、上記※1～5に該当しない者で進路が未定であることが明らかでない者を示す。
 【※7】不詳・死亡の者とは、卒業者のうち、上記の※1～5のいずれの項にも該当するが不明の者、その年の5月1日までに死亡した者を示す。

【出典】文部科学省「学校基本調査」14

出典：通信制高等学校の質の確保・向上に関する調査研究協力者会議（第7回）配付資料「参考資料2：高等学校通信教育の現状について」より抜粋
https://www.mext.go.jp/content/20210226_mxt_koukou01-000013082_04.pdf

通信制高校には困難を抱えた生徒が多い

通信制高校に在籍する生徒の実態

	狭域 通信制	広域 通信制
小・中学校及び前籍校における不登校経験がある生徒	48.9%	66.7%
外国とつながりがある（外国籍・日本語を母語としない）生徒	2.8%	2.4%
ひとり親家庭の生徒	26.9%	18.7%
非行経験（刑法犯罪等）を有する生徒	2.1%	4.1%
特別な支援を必要とする生徒	11.8%	3.0%
心療内科等に通院歴のある生徒	11.0%	4.8%

（出典）「定時制・通信制高等学校における教育の質の確保のための調査研究」報告書（平成29年度文部科学省委託事業）

出典：通信制高等学校の質の確保・向上に関する調査研究協力者会議（第7回）配付資料「参考資料2：高等学校通信教育の現状について」より抜粋
https://www.mext.go.jp/content/20210226-mxt_koukou01-000013082_04.pdf

高校生世代の実態



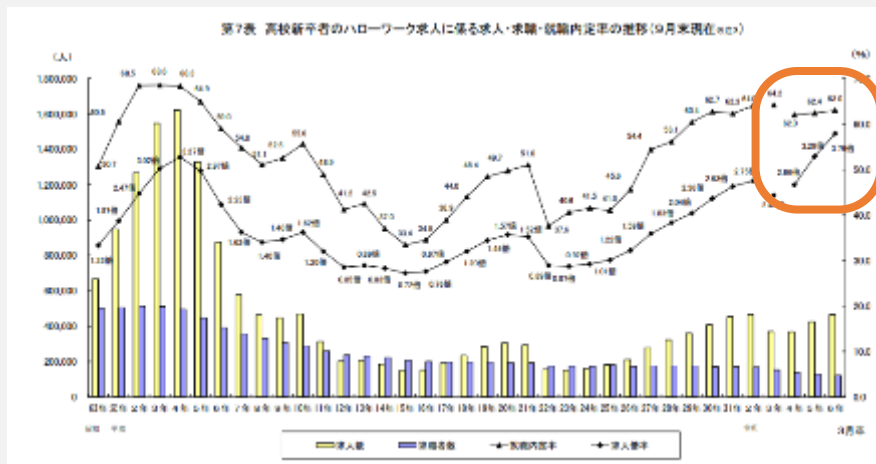
全日制の高校に進学したけれど、授業についていけなかった。
 次第に不登校になり、**通信制高校に転学**するしかなかった。
 でも、有料のサポート校に通う**金銭的な余裕はない**。
 自分ひとりで高校のレポートを進めるのは難しく、
 このままでは**卒業できない**かもしれない。



貸与型の**奨学金**で高校に進学した。でも、学費や生活費は足りない。
 だから、**無理なアルバイト**をするしかなかった。
 勉強時間を確保できなくて、高校の単位を落としてしまい、**留年**。
 そのまま**中退**。家には居場所がない。どこに相談したらいいんだろう。

少子化にともない世の中の人材不足は高まり、 企業からの高卒求人ニーズも増加

高校新卒者の求人倍率

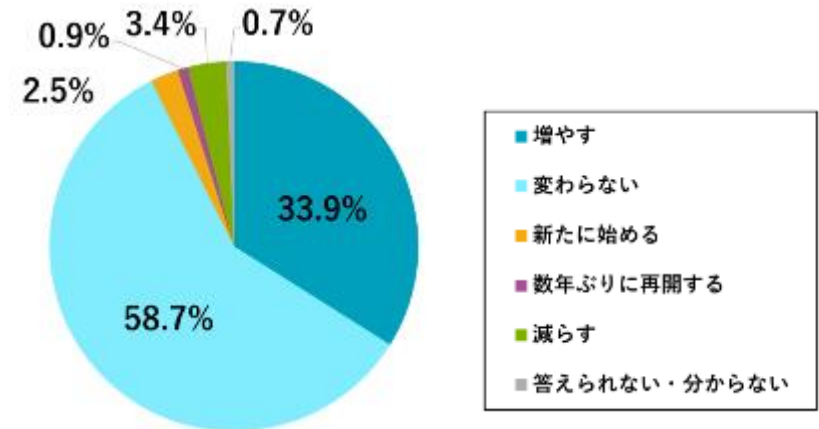


- 求人数 約 46 万 5 千人で、同 9.4%の増▲
- 求人倍率 3.79 倍で、同 0.5 ポイントの上昇▲

出典：厚生労働省「令和5年度 高校・中学新卒者のハローワーク求人に係る求人・求職・就職内定状況取りまとめ（9月末現在）」より抜粋
<https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001318935.pdf>

高校新卒者の採用計画について

Q.25卒の高校新卒の採用計画にて昨年と比較して
求人募集人数の増減はありますか (n=445)

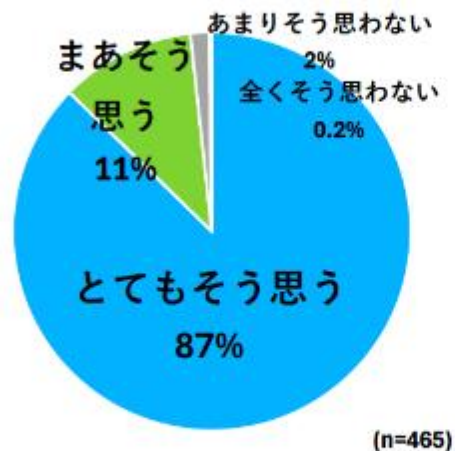


出典：株式会社ジンジブ「【25卒】高校新卒採用に関する企業動向調査（2024年4月）」より抜粋
<https://jinjib.co.jp/archives/11233>

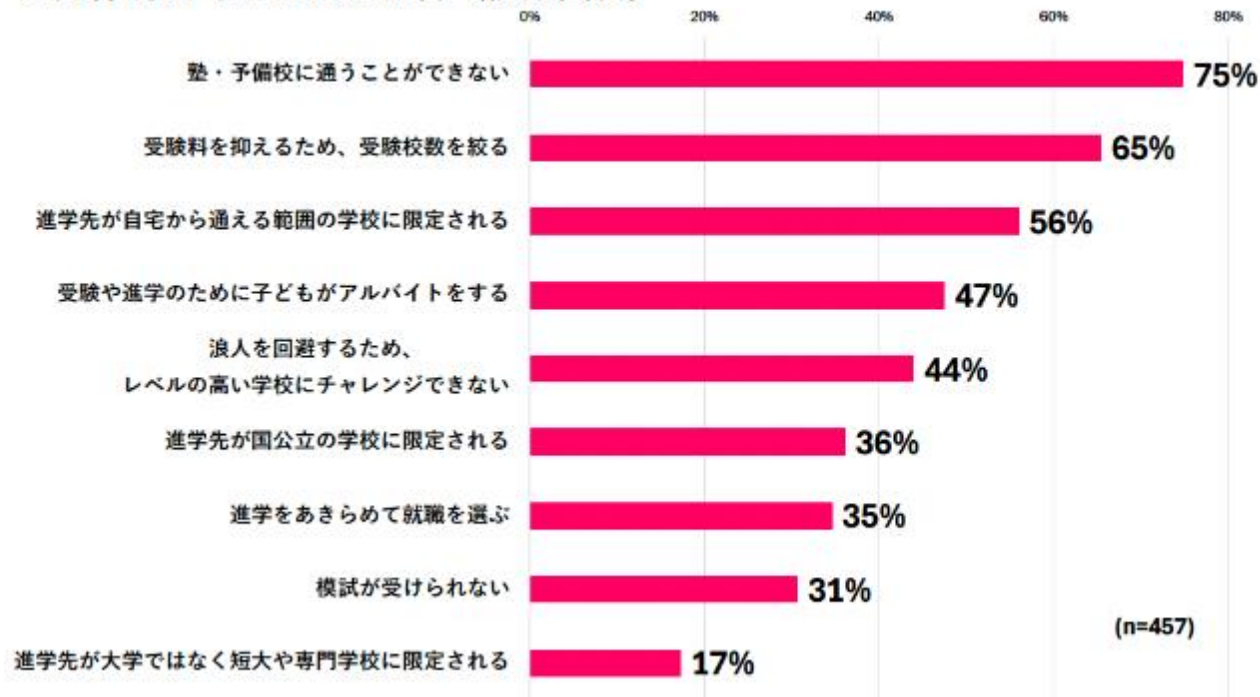
高校生世代の支援は地域にとってもメリットが大きい

家庭の経済状況が子どもの受験や進路選択に大きく影響

□家庭の経済状況が子どもの受験や進路選択に影響するか

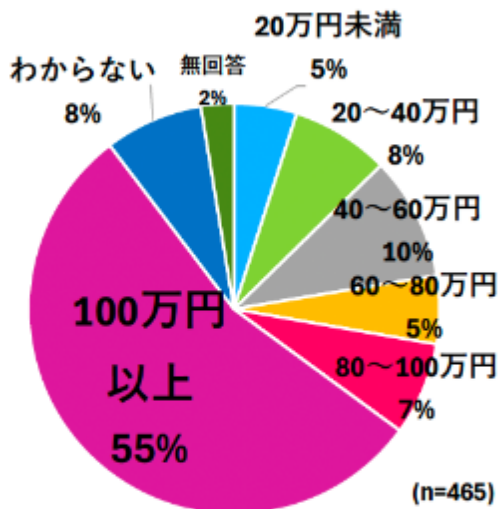


□具体的に考えられる影響（複数回答）

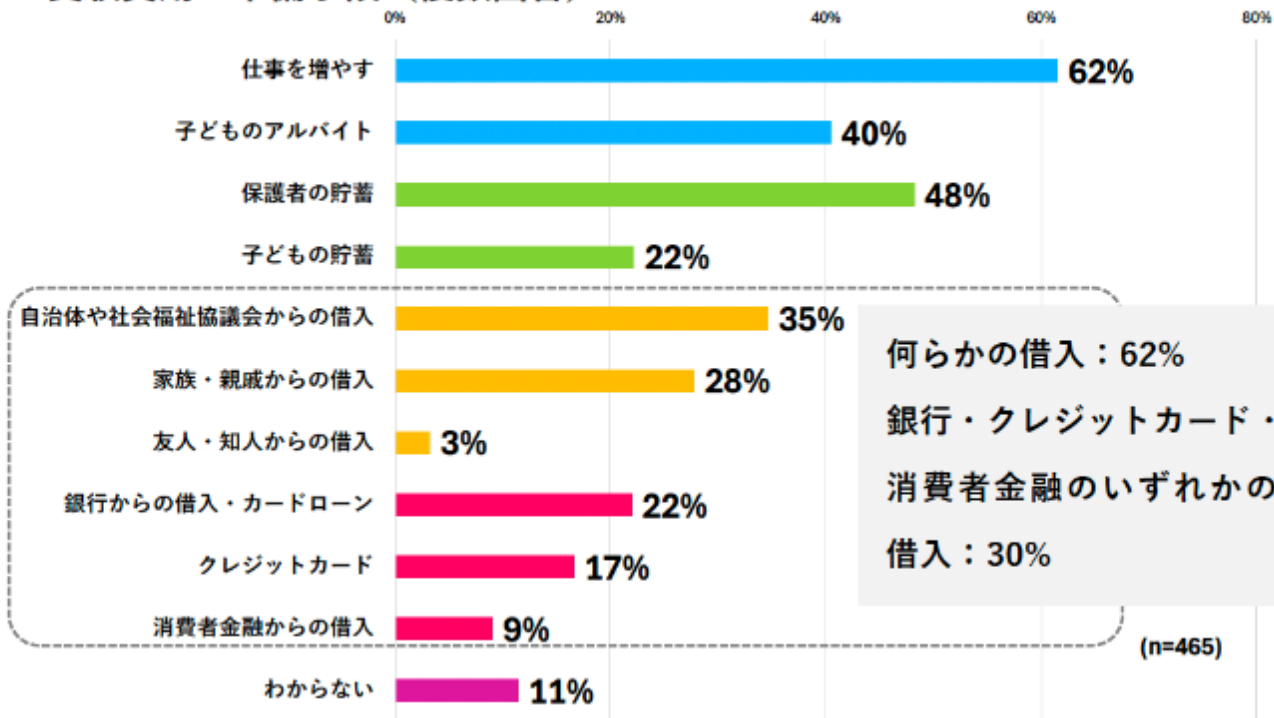


大学や専門学校への進学には、多額の費用が必要

□ 受験費用の見積り



□ 受験費用の準備手段 (複数回答)

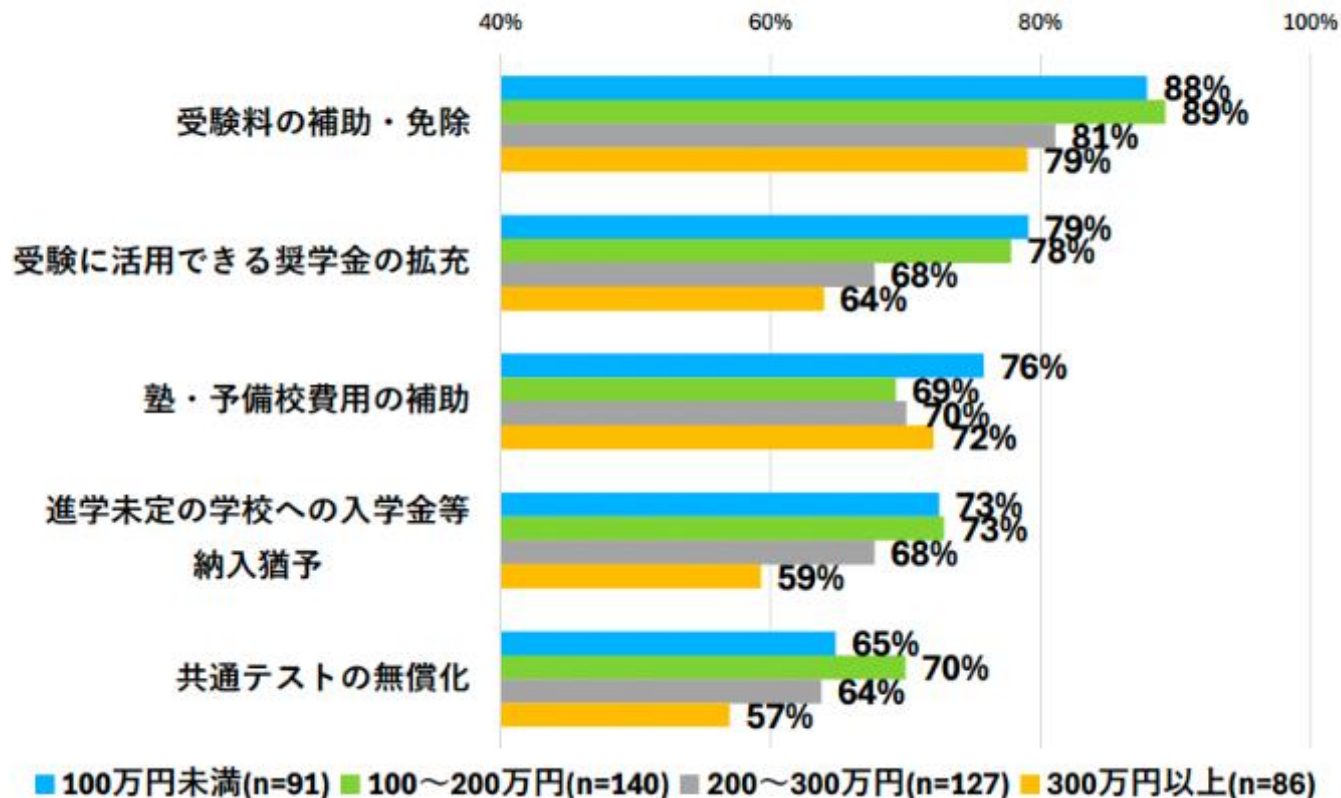


子どもの大学等受験に関する子育て家庭の声（自由記述）

- 物価高で全てが高く、食べ盛りの子供達に十分な食事も出せない。進学させてあげたかったが、子供自身が家庭の事を気にして進学を諦め就職を希望してしまった。子供の未来を潰してしまってるみたいで、居た堪れない気持ちになります。国から母子家庭への支援をもう少し広げて欲しい。
- 高校三年の子供が、学費の安い看護学校を進学先に選びました。もし、入学試験に落ちたら、就職すると言っています。きっと、家庭の事を考えてだろうと思うと申し訳ない気持ちになります。
- 子供が今まさに自己推薦型で大学受験をしようとしているが、決まったところで2週間以内に100万程払わなくてはならず、その間に先の受験料も子供がバイト代から払っています。塾代も1教科で5万と高く、奨学金が出るまでの負担が大きい。
- 子供が大学に進学したいと言われると、母子家庭で子供を大学に行かせるのは経済的に負担が大変で、入試試験代や参考書、交通費がかかるので一時金を支援してほしいです。
- 大学受験を独学では難しいと思うが塾に行かせる余裕もない。本気で学びたい子には塾代も補助が欲しい。

受験料の補助・免除を求める声は大きい チャンスの平等を！

□ 所得別・あるとよい受験への公的支援（複数回答）



【参考】東京都 受験生チャレンジ支援貸付

東京都
社会福祉
協議会

受験生チャレンジ支援貸付事業サイト

利用者
専用ページ

塾・受験校ご関係者様へ

地区窓口専用ページ

🔍 📷

🏠 トップページ 📄 事業内容 📋 手続きの流れ 🖨️ 対象者チェックツール 🗨️ よくある質問 📬 お問合せ窓口

中学 3 年生 貸付を
高校 3 年生 ……………
などを対象に

塾の費用
受験料

無利子
で行います！

合格祈願

受験生を
応援するにゃ！

さらに！
……………
高校・大学等に
入学した場合

返済が免除
されます！

※ 令和6年度のお申込みは、
令和6年4月より受付開始

当事業キャラクター
チャレニャン

⚠️ お申込みの締め切り日は、各窓口で設定しています。必ずご確認ください
1月上旬からは締切日に要注意

貸付対象	貸付限度額	貸付の範囲
学習塾等受講料	20万円（上限）	対象となる学習塾等の費用
受験料（中学3年生又はこれに準じる方）	2万7400円（上限）	対象となる高等学校等の受験料 ※1度で4回分の受験料まで貸付できません。 1回分の受験料の上限は2万3千円。
受験料（高校3年生又はこれに準じる方）	8万円(上限)	対象となる大学等の受験料

返済免除率99%!
東京都が羨ましいという声がたくさん届いています

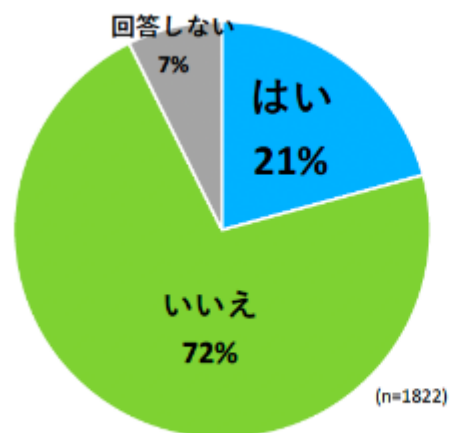
困窮家庭の不登校の課題

2.不登校の現状

困窮家庭における子どもの不登校について、以下のような現状が明らかとなりました。

- 約 2 割の家庭で子どもが不登校または不登校気味の状態にある。
- 不登校の理由では、いじめ、学校・教師・友人との関係以外に、家庭の経済状況との回答も複数あった。
- 不登校や不登校気味の子どもの日々の学習状況は「何もしていない」(52%) が最も多く、半数を超えた。
- 平日日中の過ごし方としては、約 8 割が「家にいる」(83%) と回答し、家以外の場所で過ごすとの回答はいずれも 1 割未満と低い水準にとどまった。

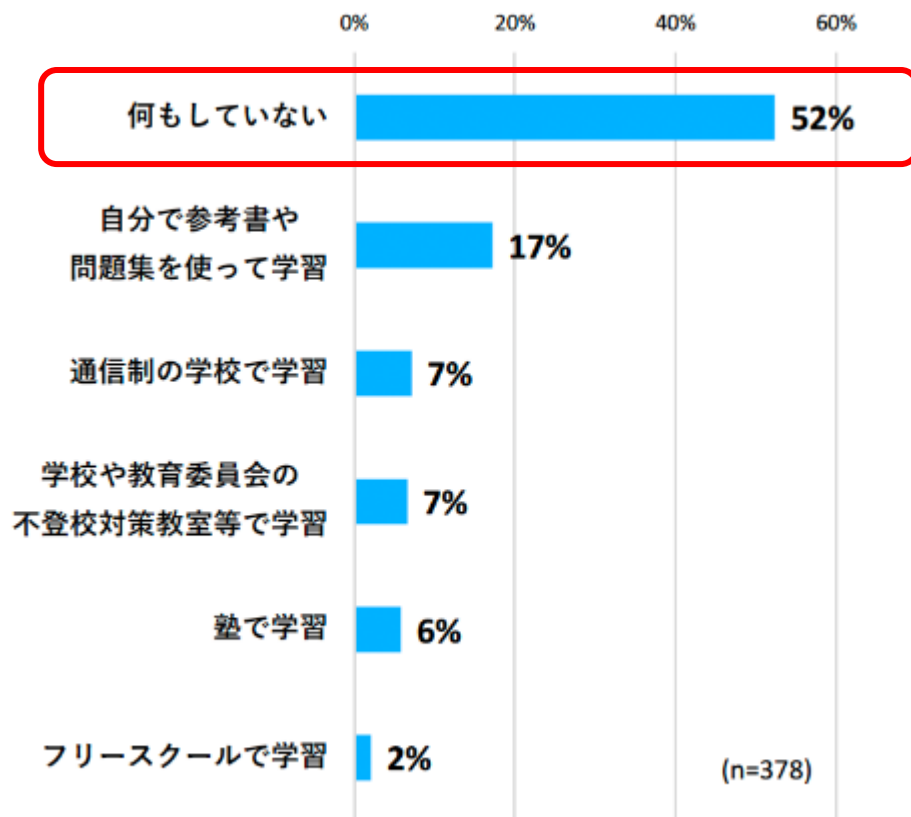
□子どもが不登校かどうか



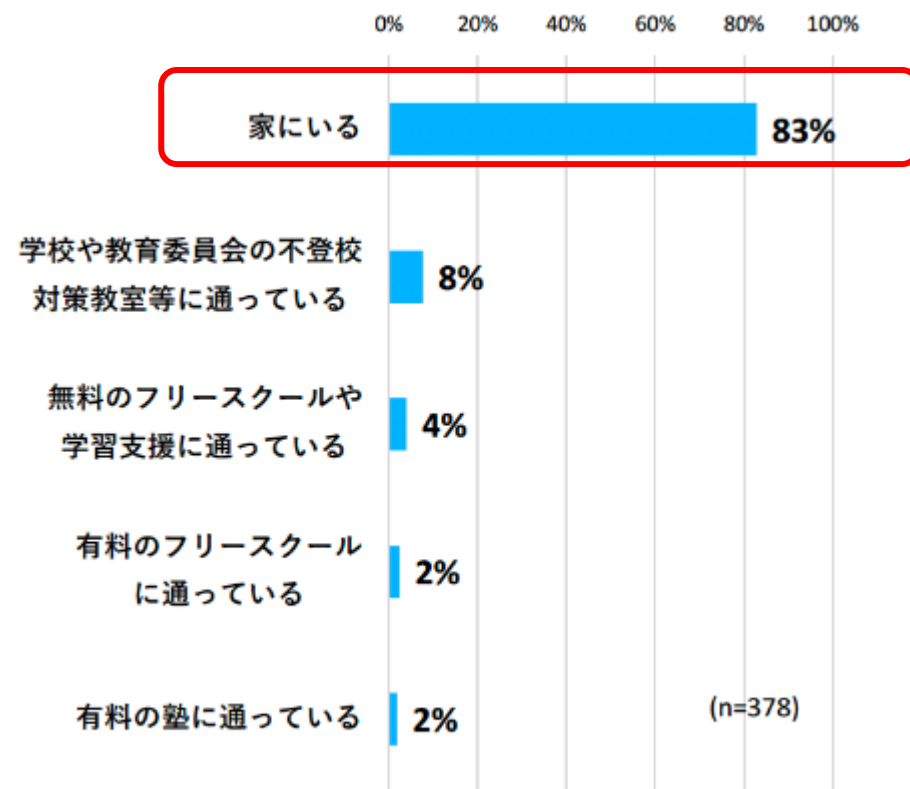
子どもが学校に行かなくなった理由（自由記述）

- 出費を抑えている分、友達と遊びに出かけることも減り友人関係が良好で無くなった様子。
- 洋服が買えない。文房具の新しい物が買えない。朝起きられない。シングル家計だと貧乏だと思われいじめられる。
- 集金未納があり行くたびに教頭先生方に言われ、子供達の上靴外靴服を買ってあげられず、学校用品のリコーダーや体操服習字道具も買ってあげられず、恥をかいてしまうから。

□日々の学習状況（複数回答）



□平日日中の過ごし方（複数回答）



*子どもが不登校または不登校気味かとの質問に対して「はい」とした回答者が対象。

子どもが学校に行かなくなったことによる困りごとや不安（自由記述）

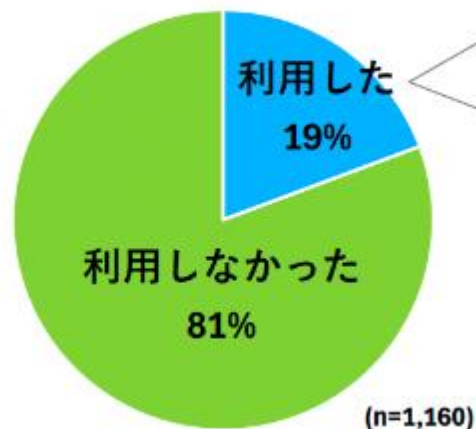
- 勉強があまりできていない、内申点が見つからないため、進路が限られてしまう。対人関係があまりできていない。本人も自信がなく将来が不安。母子家庭だとお金も時間もかけられないので申し訳ない。
- 一人残して仕事にいかなければならない。
- フリースクールが高すぎるので、無料や安価なフリースクールがあれば、子どもも通うことができます。
- 子供の居場所がもっとあったら良いと思います。公民館のような勉強ができる自習室のようなスペースが近くにあればいいなと思います。
- 子供と親の心のケア的な事があると心強いと思います。

コロナ禍の緊急小口貸付と 住民税非課税の壁

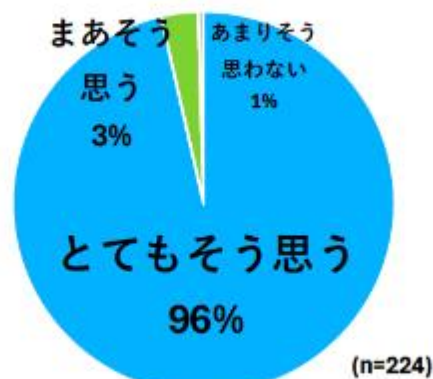
2.2 コロナ禍の特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）の利用と返済

- 全体の約2割がコロナ禍に緊急小口資金等を利用。コロナ禍の生活への打撃は極めて大きく、利用者のほとんどが借入は必要不可欠であったと考えている。借入額としては「80万円以上」が最多の約4割。
- 利用者の8割以上は住民税非課税等の理由で返済免除となっている。所得200万円以上になると返済免除とならなかった家庭の割合が増加する。
- 免除とならなかった家庭では、返済が家計の大きな負担になっている。中には、収入がわずかに非課税の基準を超えたことで返済が必要になったケースもあった。

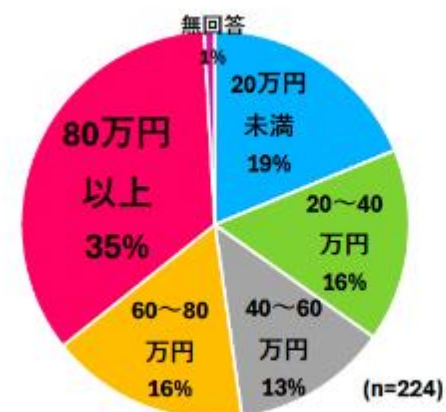
□緊急小口資金等の利用



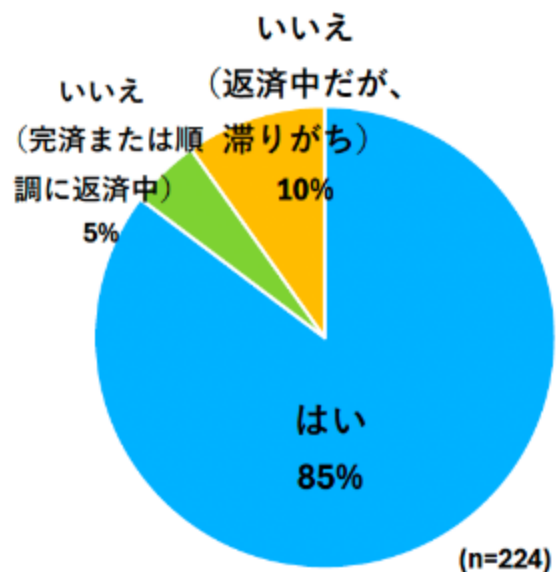
□利用は絶対に必要だったか



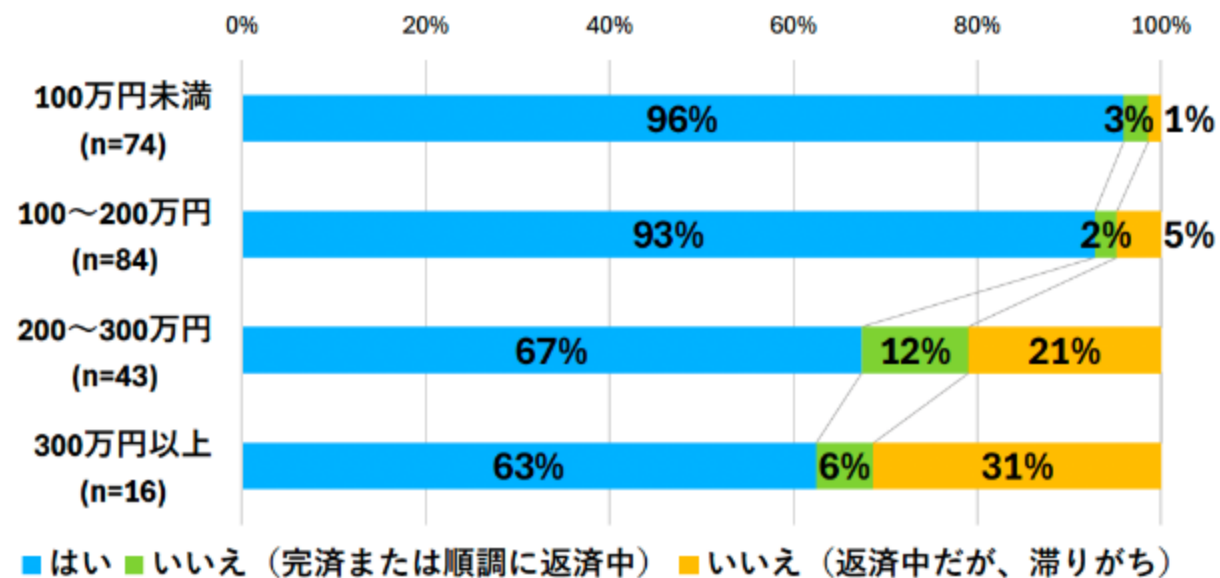
□緊急小口資金等の借入額



□ 返済免除になったか

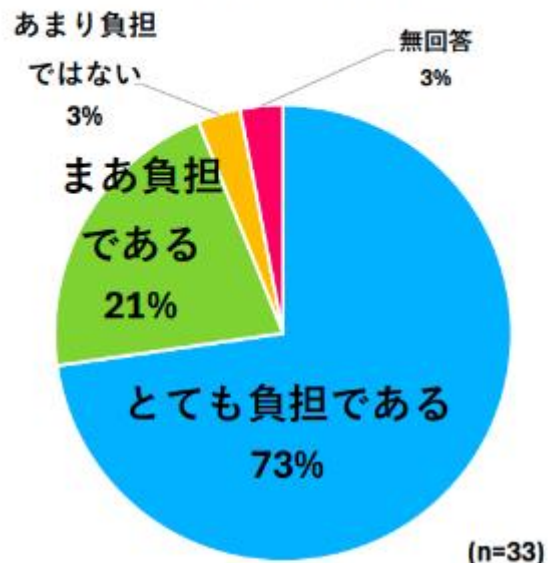


□ 所得別・返済免除になったか



©2024 認定 NPO 法人キッズドア

□返済の家計への負担



緊急小口資金等の返済に関する子育て家庭の声（自由記述）

- どうにかありませんか、と窓口へ電話しましたが「どうにもなりません」とだけ。昨年、2万円だけ、所得が超え「非課税世帯」から外れました、ショックでした。住民税は非課税均等割です。たった2日出勤しなければよかった、と悔やみ、仕事を辞めました。
- 生活が苦しいからお借りして助けていただいた事は感謝しているが、生活を立て直そうと仕事を頑張ったら年収が少しだけオーバーしてしまい非課税世帯から外れ、免除にならず、また生活が苦しくなった。何の為に頑張ったかわからない。
- なんとか仕事が見つかったのですが数千円のラインで返済免除ではなく返済対象となりましたが物価も上がり返済出来ておらず犯罪者の気分で気持ちも沈みがちです。どこに相談していいのか。
- 返済の為に子供に影響しないように自分のお昼を抜いたりして厳しい生活をしています。

* 「利用は絶対に必要だったか」・「緊急小口資金等の借入額」・「返済免除になったか」は、コロナ禍に緊急小口資金等を利用した回答者が対象。「返済の家計への負担」は、コロナ禍に緊急小口資金等を利用し、かつ返済免除となっていない回答者が対象。

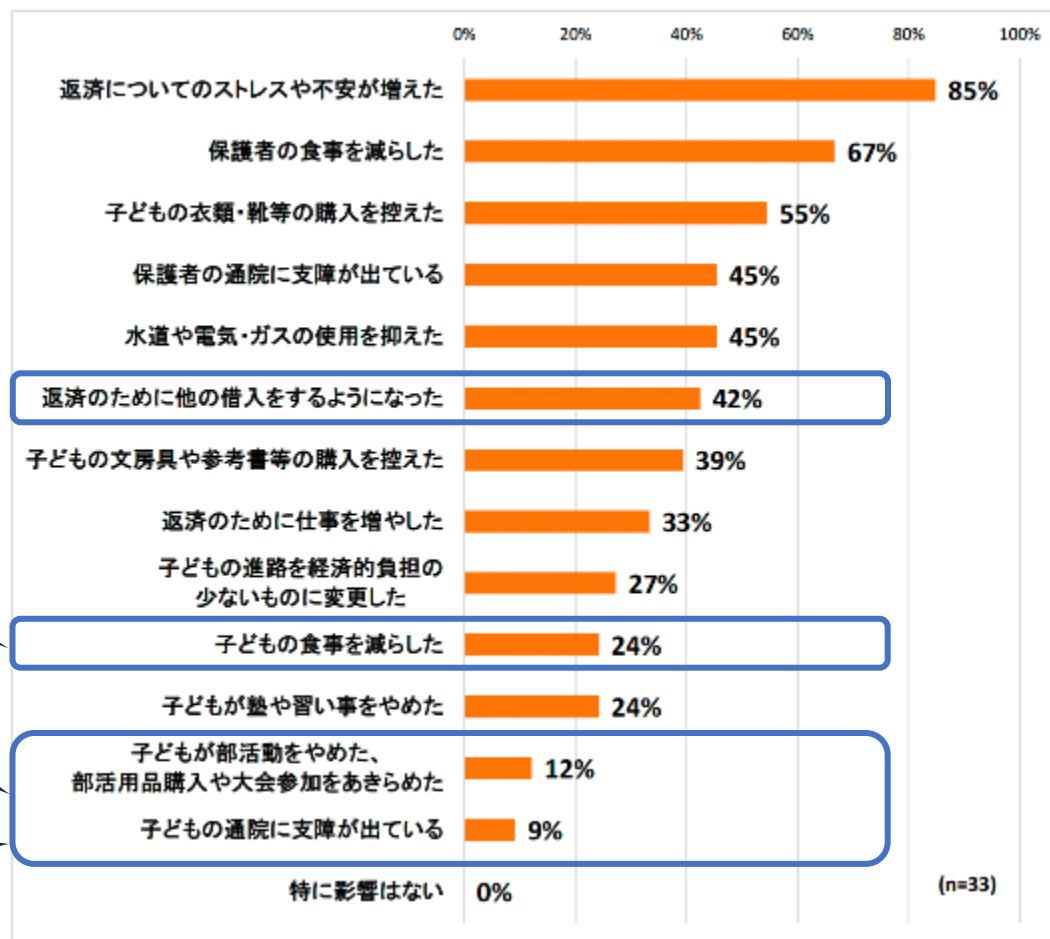
緊急小口資金等の返済による生活への影響（複数回答）

返済のために他の借入42%

子どもの食事を減らす 24%

部活を辞める 12%

子どもの通院に支障 12%

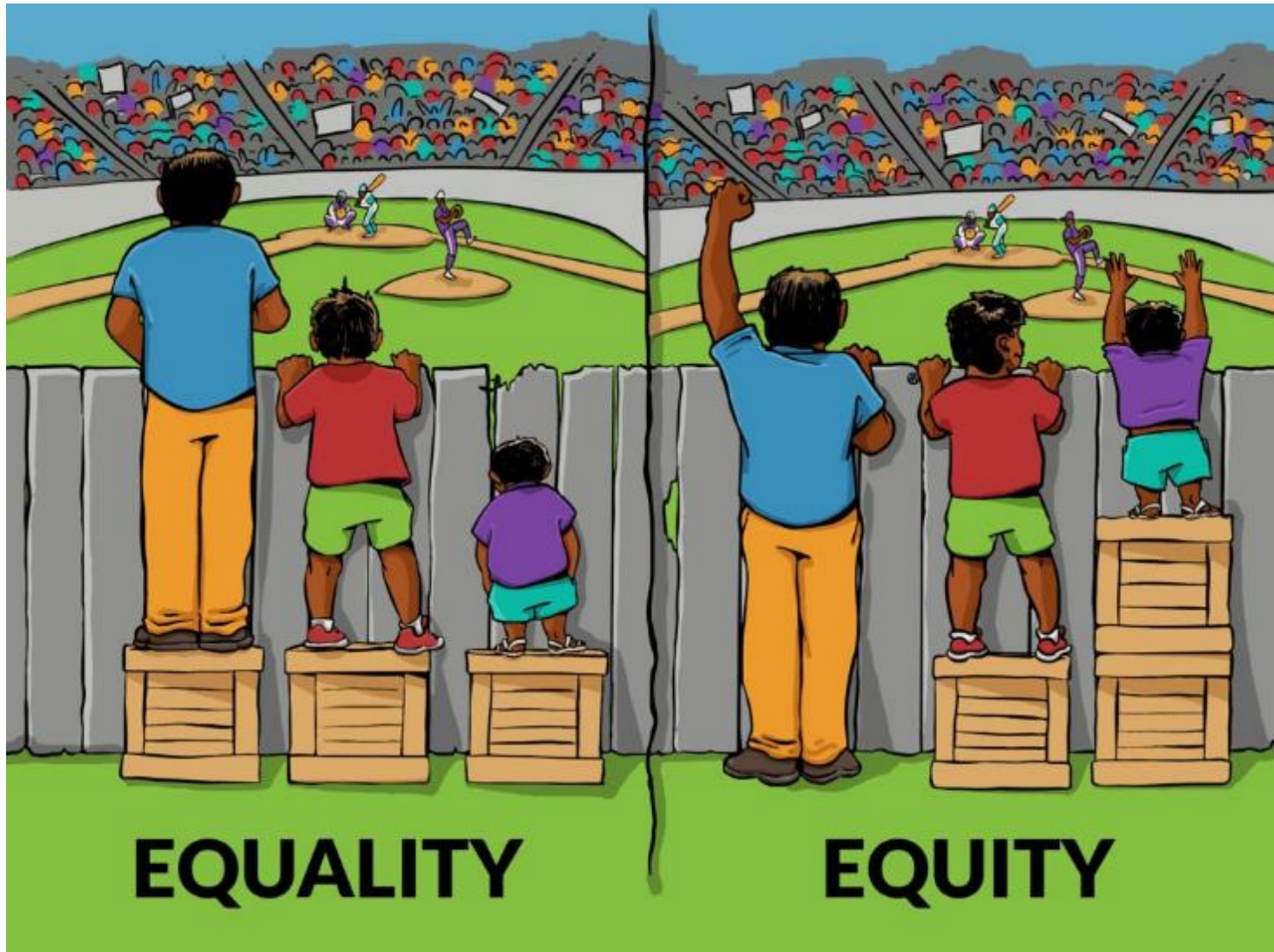


コロナ禍における緊急小口資金等の貸付は、そもそも貯蓄等も無く日々の生活費に困る困窮子育て家庭が利用しています。返済中の家庭の実態を丁寧に把握し、無理な返済で子どもの健康や将来を損ねないようにしてください。

まとめ

平等

公平



EQUALITY

EQUITY

社会全体で子どもを育てる・教育する 誰でもが豊かな教育を享受できる国へ

